

2021年7月26日

通算 100 件目のバイオガスプラントを受注 ～ 欧州を中心に、北米・日本へも展開 ～

日立造船株式会社の100%子会社で、ごみ焼却発電プラントの設計、建設、保守などを手がけるHitachi Zosen Inova AG（スイス、以下、Inova）が、当社グループが保有する乾式バイオガス（メタン発酵）技術「Kompogas®」（コンポガス）の通算100件目*となるプラント建設をイタリアで受注しました。

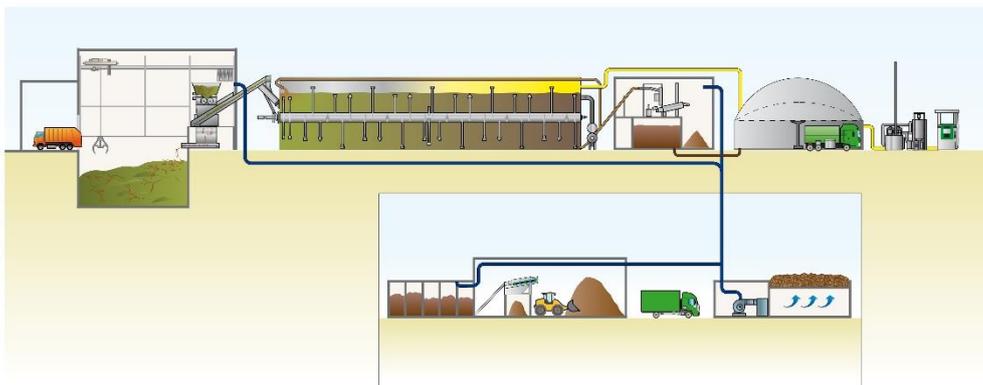
*当社グループが事業買収する以前のものを合わせた通算の件数となります。

今回受注したのは、イタリアのエミリア＝ロマーニャ州に新たに建設するプロジェクトです。年間約10万トンの有機性廃棄物を発酵させ、約1,670万Nm³/年のバイオガスを生成するもので、2022年12月に稼働予定です。

【当社グループのバイオガス事業について】

Inovaは、2014年にスイスの電力大手Axpoグループより「Kompogas®」の建設事業を買収しました。Kompogas®は乾式メタン発酵技術で、生ごみや枝葉などの植物ごみといった有機性廃棄物を酸素のない状態で約55℃の温度で発酵させ、微生物の働きによりバイオガスを生成します。生成されたバイオガスは、発電に利用できるほか、精製して純度を高めたものは天然ガスの主成分とほぼ同じ成分であり、車輛燃料や都市ガスの一部として利用できます。さらに、処理済みの残渣は農業・園芸用の堆肥や肥料として利用することができます。

Kompogas®は、世界30カ国以上の国々で商標登録されており、欧州ではトップクラスの受注実績を有しています。また当社グループはごみ焼却発電プラントにバイオガスプラントを併設し、プラント全体のエネルギー回収率向上を目指しているほか、建設業務だけでなく、米国やスウェーデンで自社プラントを所有し、運營業務も展開しています。



Kompogas 施設のイメージ図

【Kompogas®の受注実績】

欧州	86
日本	8
アジア	3
北米	2
中東	1
合計	100

(ライセンシーによるものを含む)

【主要プラントのご紹介】

● 自社保有・運営プラント（米国・スウェーデン）

米国カリフォルニア州 San Luis Obispo では、建設に加えて、当社グループとして初めてプラントを自社保有し、20年間の運営を行っています。

また、スウェーデンの Jönköping でも DBOO（Design・Build・Own・Operate：設計・建設・所有・運営）方式のプロジェクトを開発し、今春より稼働しています。本プラントで有機性廃棄物から生成されたバイオガスは、精製して純度を高めた上で燃料充填所に送られ、地元のバスや廃棄物収集トラックなどの燃料として使用されています。



San Luis Obispo 米国 カリフォルニア



スウェーデン Jönköping

● 日本のバイオガスプラント（京都）

「京都市南部クリーンセンター」のバイオガスプラントは、ごみ焼却発電施設に併設され、CO₂排出量の削減に貢献しています。



京都市南部クリーンセンター

- **当社グループ最大規模のバイオガスプラント（カタール）**

カタールの首都ドーハにあるバイオガスプラントは、年間 27.4 万トンの有機性廃棄物から 2,530 万 Nm³/年のバイオガスを生成する当社グループが製造した中で最大規模の施設です。



ドーハのバイオガスプラント

当社グループでは、欧州、北米を中心にバイオガスプラントの設計や建設に加えて、運営、メンテナンス事業を強化しています。

また今年 7 月には、Inova が湿式メタン発酵技術で事業を展開しているドイツのバイオガス関連企業 2 社を買収することに合意し、市場の幅広いニーズに対応することが可能になりました。

当社グループは、乾式と湿式の両バイオガス技術の研究開発から設計、建設、運営およびメンテナンスまで一貫して対応できる体制を構築し、バイオガス事業を展開していきます。

(終)